

平成 2 6 年

第 2 回仙北市議会臨時会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 6 年 5 月 8 日

平成26年第2回仙北市議会臨時会の開会にあたり、前回定例会後の主な事項について、ご報告をさせていただきます。

はじめに、私の教育長再任についてであります。去る3月12日に仙北市議会の皆様からご同意をいただき、また、3月20日の仙北市教育委員会定例会において、教育長として再任をしていただきました。4月1日から新たな任期がスタートして1カ月余りが経過したところですが、幼児教育、学校教育の更なる充実、生涯学習の推進、スポーツ、芸術文化の振興等々、教育行政に寄せられる関心と期待の大きさに、改めて身の引き締まる思いと私に課せられた使命の重大さを痛感している次第であります。

皆様からご理解、ご協力を賜りながら、心豊かな教育文化のまちづくりと活力に満ちた地域社会づくりを目指して、いっそうの緊張感を持って職務に精励していく所存でございますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

次に各課について申し上げます。

【教育指導課】

◇新年度スタートについて

市立の各幼稚園、小・中学校は、4月4日から始業し、入園、入学式も予定通り実施されました。小学校7校の児童数が1,216人（前年度比54人減）、中学校5校の生徒数が658人（前年度比17人減）、幼稚園3園も園児数59人（前年度比7人増）で新学期がスタートしております。

◇仙北市いじめ防止等のための基本方針の策定について

昨年9月28日に、国のいじめ防止対策推進法が施行されたことに伴い、地方自治体の各小・中学校においても、いじめ防止に対する基本方針の策定が義務づけられました。仙北市においても、昨年12月に公表されました秋田県はいじめ防止等のための基本方針を受けて、この3月に仙北市いじめ防止等のた

めの基本方針を策定いたしました。仙北市内の各小・中学校でも県及び市の方針の下、それぞれの基本方針を策定しております。市や学校の方針には、実施すべき具体的な施策、重大事態への対処などの方針が盛り込まれており、今後、この方針に基づき着実に施策を進めて参ります。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

4月22日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。教科は国語と算数・数学の2教科で、併せて児童生徒の生活習慣調査も実施いたしました。今年度も昨年度に引き続き、全国の国公立の小・中学校が全校参加しての実施となり、本市でも小学校7校、中学校5校が参加しております。

◇仙北市育英奨学資金の貸与者の決定について

平成26年度「仙北市育英奨学資金」に、高校1人、専門学校2人、短大2人、国公立大学4人、私立大学4人の合計13人（昨年度21人）の申請がありました。

4月22日に、仙北市育英奨学資金運営審議会（市内中学校・高等学校長、学識経験者、地域センター所長等8人）を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、申請された13人全員が平成26年度の奨学生に決定しております。

◇学力向上に関する文部科学省指定研究事業について

平成26年度と27年度の2年間、文部科学省の調査研究委託事業として、仙北市教育委員会並びに協力校として角館中学校が調査研究を実施することになりました。全国学力・学習状況調査による仙北市の児童生徒の学力の課題を踏まえ、児童生徒が積極的に授業に参加できる学校空間づくりの推進、児童生徒の思考を促し、深める授業づくりの推進を研究課題として進め、本市の学校教育の更なる向上に努めて参ります。

【生涯学習課】

◇花いっぱい運動推進事業について

花いっぱい運動推進事業の西木フラワーロード一斉植栽は、例年7月に実施して参りましたが、気温が上昇し苗の定着率が悪いことから、地域や学校等と調整し、1カ月早い6月1日の実施に向けて、周知等の準備を進めております。また、新規事業として、一斉植栽日に併せて「花の市」を開催いたします。

また、夏から秋にかけて、花壇づくりをしている個人や団体、企業を対象に「花のある街コンクール」を開催し、花を活かした豊かで潤いのあるまちづくりに積極的に取り組んで参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「新潮」創刊より110年感謝をこめて展について

4月19日から6月29日まで、「『新潮』創刊より110年感謝をこめて展」を開催しております。

新潮社の創始者である佐藤義亮は、大正11年から新潮社の出版物を角館図書館（現仙北市学習資料館）に寄贈しており、その遺志は歴代の社長にも受け継がれ、膨大な冊数となっております。今回は、その中の代表的な出版物を展示し、新潮社の歩みを詳しく紹介しております。ご覧いただいた皆さんからは、大好評を得ており、今後もたくさんの方々のご来場をお待ちしております。

【スポーツ振興課】

◇フリースタイルスキーのモーグル競技会について

去る3月15日と16日に、たざわ湖スキー場の黒森山モーグルコースにおいて、2014フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会を開催しました。大会には、全日本トップ級の選手を含め、延べ88人が出場し、スピードに乗ったターンや空に向かってのエアールなど、豪快なパフォーマンスに観客から大歓声が沸きあがりました。

この競技は初めての開催であり、運営からコースづくりまで、手さぐり状態でしたが、多くの皆様のご協力のおかげで滞りなく終了し、全日本スキー連盟から高い評価をいただきました。同時にワールドカップへ向けての克服すべき課題も明確となっております。

また、4月24日に立ち上げたF I S（国際スキー連盟）フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会組織委員会にも参画し、県や秋田県スキー連盟等と協力しながら、来年2月のモーグル競技のワールドカップを成功に導きたいと考えております。たざわ湖スキー場を全世界にアピールする絶好の機会と捉え、全力を上げてP Rや誘客に努めて参ります。

◇生保内公園野球場改修記念試合について

5月3日に生保内公園野球場の改修記念試合として、岩手県立久慈工業高校対秋田県立角館高校、神代中学校対生保内中学校の野球部の交流試合が行われました。生保内公園野球場は、老朽化による痛みが激しく、グラウンドコンディションが著しく悪い状況でしたが、クッションフェンスの新設や散水栓の増設など、2カ年の改修工事が終了し、見違えるようにリニューアルされました。

当日は、天候にも恵まれ、球場を訪れた方々は、きれいに改修された施設やグラウンドを眺めながら、甲子園を目指す高校球児や、さわやかな中学生のプレーに大きな声援を送っていました。

【文化財課】

◇重要伝統的建造物群保存地区修理事業について

重要伝統的建造物群保存地区修理事業小田野家主屋のⅠ期改修工事が3月末で完成し、引き続きⅡ期工事の準備作業を進めております。

名勝指定の桧木内川堤のサクラについては、景観保全を目的にソメイヨシノの花芽食害防止対策として、ウソの有害鳥獣捕獲を依頼していましたが、特に被害の報告はありませんでした。雪害による枝折れ除去や整枝作業を行い、春を奏でる400本余りのソメイヨシノや天然記念物のシダレザクラを、全国からおいでの皆様や市民の方々にご鑑賞いただきました。

また、4月11日から重要伝統的建造物群保存地区内の「岩橋家」、「河原田家」、「小田野家」の公開を、20日からは田沢湖郷土史料館の公開を開始しております。

【角館町平福記念美術館】

◇藤あや子作品展について

4月1日から4月20日まで「藤あや子作品展一彩・かくの
だて一」を開催いたしました。藤さんは、生まれ育ったふるさ
とが災害に見舞われるなど、大変な状況にあることに心を痛め、
ふるさとの皆さんを元気づける手助けになればとの気持ちから、
今回、仙北市で初めての作品展の開催の運びとなりました。多
忙な歌手活動の傍らに制作された絵画や陶芸作品82点が中央
展示室を中心に展示されました。

1日のオープニングセレモニーには、藤さんご本人にもご出
席いただき、市民や県内外から訪れた多くの皆さんから大変喜
んでいただきました。期間中、4,655人の方々が来場され、
花を中心とした女性らしい作品の数々に、一足早い春の訪れを
ご堪能いただけたことと思います。

◇竹久夢二展について

4月25日から「竹久夢二展一夢二が誘う大正ロマンの世界
一」を開催しております。

竹久夢二は、大正ロマンを代表する画家で、多くの美人画で
も知られております。全国的にも人気の高い夢二の肉筆画や木
版装画、楽譜、装丁といった様々なジャンルの作品、約200
点が展示されております。著名な日本画家である平福百穂と同
時代を歩みつつも、独特の魅力ある美の世界を構築した夢二の
画業をご堪能いただける企画展となっております。5月25日
までの期間中、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

【国民文化祭推進室】

◇第29回国民文化祭・あきた2014について

4月21日に角館交流センターで、第29回国民文化祭・あ
きた2014に向けた仙北市実行委員会第6回総会を開催し、
本年度の事業計画を決定しました。

これまで10の事業ごとに、事業別企画委員会が順調に準備
を進めてきており、既に全国から参加募集を行っている事業も

あります。「大正琴の祭典」には、北海道から鹿児島まで42団体、約1,300人が参加する予定です。「田沢湖・角館短歌大会」には、歌人の俵万智さん、「江戸に花開いた秋田の文化」には、江戸文化研究の第一人者で法政大学総長の田中優子さん、「佐藤貞子～秋田おばこ物語～」には、女優の浅利香津代さんなど、出演者も多彩な顔ぶれとなっております。

総会には、実行委員や事業別企画委員など、約100人が出席し、各企画委員長から事業の紹介と力強い抱負が述べられ、「『ブンカ☆ステーション仙北市』から、地域を、東北を、日本を元気に！」と「とびっきりの笑顔で迎えよう！全国のお客さまを！！」のスローガンを採択、斉唱し、国民文化祭の大成功を誓い合いました。

以上、教育行政に関する報告を申し上げまして、教育行政報告といたします。